

みずほCustomer Desk Report 2018/04/13号(As of 2018/04/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.91
TKY 9:00AM	106.83	1.2373	132.16	1.4188	0.7763
SYD-NY High	107.43	1.2380	132.33	1.4246	0.7772
SYD-NY Low	106.70	1.2299	131.81	1.4145	0.7738
NY 5:00 PM	107.35	1.2326	132.30	1.4229	0.7756
NY DOW	24,483.05	293.60	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,140.25	71.22	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,663.99	21.80	米国2年債	2.3542	4.92bp
日経平均	21,660.28	▲ 26.82	米国5年債	2.6783	6.62bp
TOPIX	1,718.52	▲ 6.78	米国10年債	2.8422	6.42bp
シカゴ日経先物	21,840	160.00	独10年債	0.5135	1.55bp
ロンドンFT	7,258.34	1.20	英10年債	1.4555	6.90bp
DAX	12,415.01	121.04	豪10年債	2.6750	0.10bp
ハンセン指数	30,831.28	▲66.43	USDJPY 1M Vol	7.05	▲0.20%
上海総合	3,180.16	▲27.92	USDJPY 3M Vol	7.55	▲0.03%
NY金	1,341.90	▲18.10	USDJPY 6M Vol	7.92	▲0.09%
WTI	67.07	0.25	USDJPY 1M 25RR	-0.79	Yen Call Over
CRB指数	199.30	0.47	EURJPY 3M Vol	7.74	▲0.06%
ドルインデックス	89.75	0.18	EURJPY 6M Vol	8.25	▲0.05%

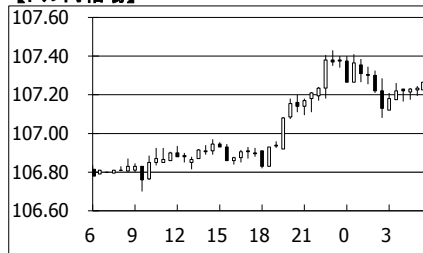
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月12日	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	2月 -0.8%	0.1%
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:15	欧 クーレECB専務理事 講演「金融引き締めと景気下支えの両立は可能」	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 233k	230k
4月13日	01:00	欧 バイトマン・ドイツ中銀総裁 講演「物価安定の目標を弱めることがあってはならない」	-	-

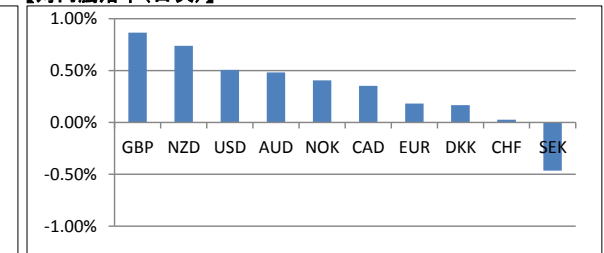
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月13日	-	中 貿易収支	3月 \$27.50b	\$33.74b
	15:00	独 CPI(前月比)・確報	3月 0.4%	0.4%
	15:00	独 CPI(前年比)・確報	3月 1.6%	1.6%
	21:00	米 ローゼングレン・ボストン連銀総裁 講演	-	-
	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 シガン大学消費者マインド・速報	4月 100.5	101.4

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.50-107.70	1.2290-1.2400	131.50-132.60

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円は堅調に推移。トランプ米大統領がシリア攻撃の時期について「近いかもしれないし、全くそうでないかもしれない」とコメントし、地政学リスクが後退したことからドル円は107円台前半まで上昇。しかし、最近上限として意識されている107.40-50レベルでは上値重く、再びシリア攻撃の計画とのヘッドラインを受けて107.35レベルでクローズ。市場のテーマが大きく変わらない中値幅の狭い取引が続いており、積極的に上値を追う材料にも乏しい。週末に米為替報告書発表のタイミングを控えていることもあって、徐々に動意薄の展開となろう。

東京	東京時間のドル円は106.83レベルでオープン。アサ政権の化学兵器使用疑惑問題を巡って米露関係の緊張化が意識される中、ドル円は前日から上値の重い展開が続く中でこの日の安値となる106.70まで軟化。その後仲値付近にかけて、前日比マックス圏で寄り付いた日経平均株価がプラス圏に浮上する中、本邦勢による実需フローも相俟ってドル円は106.90付近まで反発。その後はやや材料不足となる中で106円台後半での揉み合う展開。一時東京時間高値となる106.97まで上昇した後、結局106.86レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.86レベルでオープン。トランプ米大統領がシリア攻撃について「すぐに起こるかもしれないし、当分起こらないかもしれない」と断定的な表現を避けたことから、過度に地政学リスクを警戒する動きが後退。107.20付近まで上昇し、107.18レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.2359レベルでオープン。ユーロ圏2月鉱工業生産が、前月比-0.8%(予想+0.1%)、前年比+2.9%(予想+3.8%)と予想を大幅に下回ったことで、1.2320に低下。1.2321レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.4228レベルでオープン。英政府が本日の午後に緊急閣議を開催し、シリア軍事行動の選択肢を検討すると報道されたことで、1.4145までポンド売りに動いたが、結局トランプ氏のツイートをきっかけに買い戻され1.4205レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	トランプ米大統領による「(シリア攻撃は)すぐに起こるかもしれないし、当分起こらないかもしれない」とのツイートがシリア情勢に対する同氏のスタンスが前日からはトーンダウンしたと受け止められたことや、弱めの欧州指標を背景とするユーロドル下落などがドルのサポートとなったことから、海外市場のドル円は107円台を回復し、107.18レベルでNYオープン。上記ツイートを受け、シリア情勢を巡る米国とロシアの緊張が緩和したとの見方から、マーケットはリスクオフモードが後退。株高にサポートされ、ポンド円をはじめとしたクロス円がストップを巻き込みながら上昇する動きに、ドル円は上昇加速。トランプ大統領がホワイトハウスで記者団に対し、NAFTA合意について「メキシコは設定されていないとしても、かなり近づいている」との見解を示したことも材料視され、この日の高値となる107.43まで上昇。しかし、米メディアが、複数の米当局者の話として「シリア被害者から採取された血液や尿のサンプル検査で化学物質が検出され、何らかの神経剤が使われた可能性がある」と報じたことを受けて、再び米露関係に対する緊張感が高まり、107.08まで下落。しかし、その後は高値圏で底堅く推移する米株にサポートされ、107.37まで回復し、結局107.35レベルでクローズ。一方ユーロドルは、予想を大幅に下回ったユーロ圏2月鉱工業生産やパストと受け止められたECB議事要旨を背景に海外時間から軟調に推移し、1.2321レベルでNYオープンし、1.2299まで下落。その後、堅調な株価を横目にユーロ円が底堅く推移したことから、1.2340まで回復し、1.2326レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 岡本・鶴田